

慈雲

40号

2016/3

真宗大谷派 慈雲山 瑞蓮寺

慈雲会

〒604-8214

京都市中京区新町通蛸薬師下る

百足屋町375番地

TEL/FAX (075)221-4616

zuirenji@hotmail.com

http://www.zuirenji.net/

SinsyuuOotaniha

JiunzanZuirenji

Jiunkai



尔時世尊
在耆闍崛山
知韋提希
心之所念

【『観経』の言葉】

その時に世尊、耆闍崛山にましまして、韋提希の心の所念を知ろしめして、

韋提希夫人は、幽閉されておりながら素直にお釈迦さまに泣き付くことができません。私事でお呼びするのはもつたいないとか仏弟子の阿難に来て欲しい等と言つてきましたが、その言葉と自分の本心の食い違いに身悶えてふしまろぶのでした。

その時お釈迦さまは程遠い耆闍崛山におられました。夫人が本心から念う所をお知りになられるのです。

ある科学者が「想念は光より早い」と言っていました。人の願いや想いは瞬時に宇宙の果てまで届くというのです。

前号の「未だ頭を挙げざる頃に」とは夫人の想いが瞬時に耆闍崛山のお釈迦さまに届いたことを示しているのです。

今月は

一切善悪凡夫人
いっさいぜんまくぼんぷにん
もんしんによらいぐぜいがん

聞信如来弘誓願
もんしんにょらいくげいがん

仏言広大勝解者
ぶつごんこうだいしょうげしや

是人名分陀利華
ぜにんみょうふんたりけ

の四句を学びます。

「一切善悪の凡夫人、如来の弘誓願を聞信すれば、仏、広大勝解のひとのたまえり。この人を分陀利華と名づく。」と読みます。

まず現代語訳してみますと「すべての善悪に縛られている普通の人々が、如来の必ず救おうという誓願を聞信するならば、仏さまは、本当によくわかった智慧ある人とたたえられ、この人を分陀利華（白蓮華）と名づけます。」というような意味です。まず仏教は「一切善悪の凡夫人」という普通の人が目当てであります。凡夫とはただの人、平凡な人のことであり、ほめられると喜びしかられると悲しみ落ち込む存在、一喜一憂する私たちのことです。

その凡夫が「如来の弘誓願を聞信する」ときということ。私が聞き私が信ず

るのですがそれに先立って仏さまの方が弘誓願を建ててくださったのであり、そのことに気づいたことを「聞信」といいます。普段の生活の中で善とか悪とかにかかりきっている私の心に「聞信」という出来事が起こってくださることは容易なことではありません。それは私が努力した結果「聞信」できるようになったのではなく、仏さまの方から私の心を押し広げて呼びかけてくださったのであり、そこを『安心決定鈔』に「いままで聞かざることをはずべし」と言われています。

自分の努力でかちとった「聞信」ではないのにお釈迦さまは「広大勝解者」とほめられる。いや自分の努力でないからこそそのようにほめられるのでしよう。

最後の句で、この人を分陀利華と名づけるのであるとおっしゃいます。「分陀利華」はインドの言葉でブンダリーカとい訳して白蓮華です。ただし、このような人はどんなにすばらしい、宗教心のあふれた方なのかというところでありません。あくまでも「一切善悪凡夫人」なのです。つまり私たちと何ら変わることはない日常生活を送っている人間が白蓮華になり得るのです。それはその人の信仰心

が人一倍篤いのではなく、仏さまの声をよく聞き取った人なのです。ひとたび聞こえてみれば自分という人間はますます善悪にかかりきっているなんの取り得もない人間であるとうなずくことができます。一句目の「凡夫人」は阿弥陀の弘誓願の目当ては凡夫であること、を指していましたが、ひとたび仏さまの呼び声が聞こえてみたら、私こそが仏さまの弘誓願の目当てである凡夫であるといただくことができます。このようにして凡夫はいよいよみずからを「凡夫」と自覚していくのです。

「分陀利華」は白蓮華の他に「妙好人」ともいいますがそれは腹も立てず他人をうらやんだりしない人のことではありません。金沢にIさんという女性がおられました。その方は「妙好人」といわれていました。Iさんは三十年近く聞法してきてわかったことはひとつ「腹は立つもんや」「仏法聞いて良い人間になろうと思っていたがだめなんだということがやつとわかった。」とおっしゃいました。

凡夫になることは悪いことではなく、仏さまと二人三脚の生活をする人になることなのです。

【同朋の会】

本年度の瑞蓮寺 同朋の会の日程が決まりました。詳細は決まりましたら改めて『慈雲』でお知らせします。

- 三月三十一日（木） 正午～
東本願寺「御本尊還座式」に参拝
- 五月七日（土） 午後二時～
瑞蓮寺にて講義
- 「お内仏の莊嚴と作法」
六月四日（土） 午後二時～
瑞蓮寺にて講義「阿弥陀経を読む①」
- 七月二日（土） 午後二時～
瑞蓮寺にて講義「阿弥陀経を読む②」
- 九月三日（土） 午後二時～
瑞蓮寺にて講義「阿弥陀経を読む③」
- 十月一日（土） 午後二時～
瑞蓮寺にて講義「阿弥陀経を読む④」
- 十一月二十六日（土） 正午～
東本願寺「報恩講」に参拝
- 十二月一日（木）～十日（土）
瑞蓮寺にて
- 「第二回写真コンテスト展示&投票」
十二月十日（土） 午後二時～
瑞蓮寺にて「写真コンテスト表彰式」

※日時は変更になる可能性があります。

まずは、「御本尊還座式」参拝の参加者を募集します。

日時 三月三十一日（木）

十二時 東本願寺集合

又は

十一時 瑞蓮寺集合

その後、懇親会の予定

参加費

「御本尊還座式」参拝のみの方、無料

懇親会参加者

五千元

申し込みは、瑞蓮寺まで。

~~~~~

## 【ご案内】

瑞蓮寺では書道教室を開講しております。ご興味のおありの方は、お問い合わせ下さい。

開講日

第一、木曜日

午後六時～午後七時半

第二、第四、火曜日

午後四時半～午後七時

第四、土曜日

午後四時～午後五時半

月謝等、詳しくは瑞蓮寺（電話〇七五―二二―四六一六）まで。



【お知らせ】

瑞蓮寺 御住職が東本願寺で法話をさ  
れます。是非とも御聴聞下さい。

・晨朝法話

【場所】 東本願寺 御影堂

【日時】 四月十八日 午前七時半～  
十九日 午前七時半～

・真宗本廟法話

【場所】 東本願寺

視聴覚ホール又は参拝接待所仏間

【日時】 四月十八日 午前十時十分～  
四月十九日 午前十時十分～  
午後一時十分～  
午後一時十分～

しんらん交流館 定例法話

【場所】 しんらん交流館 すみれの間

【日時】 四月十七日 午後二時～  
十八日 午前二時～

【お磨きのお知らせ】

春の彼岸会に先立ち、仏具のお磨きを  
します。皆様ふるって御参加下さい。

三月十七日（木）午前九時より

【お彼岸のお知らせ】

三月二十日（日・祝）

春の彼岸会法要を勤修します  
午後一時より納骨堂を開きます

二時 お勤め

三時 法話 藤澤隆章氏

（真宗大谷派 泉證寺前住職）

四時 慈雲会総会

総会終了後 お齋

【慈雲会総会のお知らせ】

三月二十日（日・祝）彼岸会法話終了後

議題 平成二十七年 行事・事業報告

平成二十七年 決算報告

平成二十八年 事業計画説明

平成二十八年 予算説明

その他

【編集後記】

三月となり三寒四温の日々ですが、皆  
様如何お過ごしでしょうか。

今回の慈雲は告知が多くてすみません。

三月は色々な行事が決定する時期で、  
少しでも多く皆さんに知って頂きたい  
との思いで掲載しております。

ご興味を持たれた内容はございまし  
たでしょうか。今年度の「同朋の会」は  
推進員の協議により、今まで以上に仏教  
を知って頂くという思いで、各会のテー  
マが決められました。「お内仏の莊嚴と  
作法」は最も身近なお内仏に関してで、  
お飾りの仕方や作法を知って頂けたら  
と思います。よくご存じの方も、もしか  
したら新たな発見があるかもしれませ  
ん。「阿弥陀経を読む」は『阿弥陀経』に  
書かれている内容を簡単にわかりやす  
く説明して頂ける講座です。『正信偈』  
の内容はよくご存じの方も多いと思い  
ますが、『阿弥陀経』の内容は意外とご  
存じないようです。少し笑える記述もあ  
りますので、是非、ご参加下さい。  
また、御住職の東本願寺での御法話は、  
普段とは違う一面が見られるかも。色々  
と楽しい行事が予定されていますので、  
皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい。

長塩浩史

瑞蓮寺のホームページ

<http://www.zuirenji.net/>

瑞蓮寺のメールアドレスが変わりました

[zuirenji@hotmail.com](mailto:zuirenji@hotmail.com)